

勝久晴夫

知的基盤総合センター・特任講師（常勤）

【研究】

共著の教科書として、茶園成樹編『著作権法〔第3版〕』（有斐閣、2021年）を12月15日に刊行した。本書において、第3章著作者（55頁から74頁）、第7章侵害に対する救済（211頁から242頁）を執筆担当した。

【教育】

法学研究科知的財産法プログラムにおいて、著作権法（総合）、著作権法（特別）、産業財産権法展開、知的財産関係法を担当し、全学教育推進機構において、知的財産モラルを担当し、合計5つの講義を行なった。

【管理運営】

・情報管理委員として情報管理を行うとともに、全学委員会の委員として情報化推進会議及び情報セキュリティ推進会議において、各部局の代表者と意見交換を行った。
・システム委員として、IPrism サーバ管理及びシステム移行のための各申請手続、業者との連絡、担当者との意見交換を行った。この他、知的基盤総合センター内の無線 LAN 環境を改善し、オンライン講義等の質を向上するための環境整備を整えた。

【社会貢献】

知的財産教育の普及の一環として、関西大学において、「基礎からの情報処理」という理系学生向けの講義の中で、知的財産法の講義を前期後期計6回実施した。